

かがやく女性

- The Fukui Women's Foundation News Letter -

vol.55

2023年9月30日発行
(公財)ふくい女性財団

ふくいきらめきフェスティバル2023

あなたらしく 自分らしく ともに輝こう～未来を変える学びの場～

令和5(2023)年6月24日
福井県生活学習館にて開催

記念講演

「自分らしく」を楽しく！

株式会社朝日新聞出版
AERA編集長

木村 恵子 氏



自分の興味、「こうしたい」に従ってみる

福井市で生まれ、幼少期は福井で過ごしました。その頃から、何となく東京への憧れやメディアの世界で働きたいという思いがあり、大学卒業後は朝日新聞社に入社しました。新聞記者は、事件が起きると夜中でも電話があり、「現場に走れ」と言われますが、女性である私には電話がかかってこないことがありました。女性への配慮は大事ですが、それは機会喪失に繋がり、自分もチャレンジしたいのにできない悔しさをその時感じました。

仕事は楽しかったのですが、一方で、結婚・出産も面白そうやってみたいという思いと、記者の仕事とどう両立させるか悩みました。新聞社でのメインストリームは記者として次のキャリアをどう歩んでいくかでしたが、週刊誌『AERA』も面白いのではないかと、興味もあり飛び込みました。あれから約20年、今自分がいろんなことにチャレンジして楽しく仕事ができるのは、「自分はこうしてみたい。こっちの方が面白いのでは」という気持ちに従ったことが大きいと思います。

「できない」ではなく、やってみる。

自分らしいリーダー像でいい

子育てしながらの管理職は一つのハードルだと思います。私も打診された時、「誰も頼る人がいない状況でとてもできません」という反応だったと思います。「やってみたらまた違うステージに上がれるよ」と上司がチャンスをくださったと思い、そこは悩みました。「管理職にトライするとしたら、こういう風にしかできません」と説明し、それでもやってみようという声があったので管理職である副編集長にトライすることにしました。

次に、第2子出産というもう一つの山が来るわけです。2人目になると大変さも増しますが、「第2子が欲しい」「自分のこうしたいを大事にしたい」という思いから、出産に踏み切りました。復職後、月刊誌と季刊誌の編集長兼務の打診がありました。何人かいる副編集長と違い、編集長は一人なので責任も重くなる。昔の編集長と言うと、「誰よりも遅くまで会社に残り、何かあったら全部背負う」だったことを考えると、とてもできないわけですが、

「お迎えで早く会社を出るけど、電話等で連絡は取れるようにする。色々なケアはするので理解してね」といった自分なりのやり方で、昔の「こうあるべき」に染まらないというのが最大のポイントでした。また、コロナ禍で出勤できなかったことやオンライン化が進んだことで働き方が大きく変化したこと、「打診されたら乗ってみる」という思いもあって「3つの草鞋」を履くことにしました。

『AERA』の編集長を打診された際は、『AERA』は緊急対応が必要なニュースを扱い、世の中への影響力も大きいので迷いましたが、「先に不安要素で埋め尽くさない」「私らしいリーダー像で良い。皆にそれを理解してもらい、違う部分で私らしさを発揮すれば良いんだ」と思い、昨年4月から編集長をやっています。

「自分らしく」とは

キャリアとプライベート両方ありますが、キャリアでは、どういう働き方が合っているのか、出産後の働き方をどうしたいのか。転職やフリーランス、起業など多様な選択肢の中で、何が快適でどうしたいのか。プライベートでは、結婚・出産をしたいのか、働き方の変化も出てきている中、どこで暮らすのかも含めて人生の選択肢も広がっています。「これが普通だよ」に染まっていないと自分は何か欠けている思いがちですが、「私はこうしたいんだ」という思いを時々確かめることが大事だと思います。

組織の運営や方針を決めていくマネジメント側に入る女性を増やしていくということが今の日本の企業が抱える課題ですが、現実には、長時間労働や女性は家庭を守るといった価値観などにより、管理職にはなりたくないというのがトレンドです。

福井は、3世代同居世帯が多いことや町内会での繋がりなどが強く、何かあったら頼めるというのはすごい力だと感じます。マネジメント層に飛びこもうとか、キャリアに挑戦しようということの後押しする環境にある点は、プラスだと思います。女性が家族を守るといった昔ながらの価値観も根強いと思いますが、新しい価値観でチャレンジしたい意欲を後押しすることも大事です。完璧なんて誰もできません。頼れるものは何でも頼る。福井は、周りに頼れるものがある社会だと思います。

あまり計画を立て過ぎず、直面した課題に向き合う。できない理由はいっぱいありますが、とりあえずやってみることが大事です。「自分らしく」をそれぞれが追求して楽しむことが、自分も満足する成果を生んでいくことに繋がると考えています。見守る側の先輩層の方々も、自分らしくトライしようとしている人を応援する。そういう空気が広がる社会になっていくと面白いことがどんどん起きていくのではと思います。

今年は4年ぶりに1日かけて開催しました!

ふくいきらめきフェスティバル2023



福井大学・福井県立大学
アカペラサークル合同演奏



田村実行委員長
挨拶



男女共同参画社会づくり
功労者知事表彰



櫻本副知事 祝辞



西本県議会議長
挨拶

仕事も子育ても「なんとかなる！」 まずは飛び込んでみよう



講演講師の木村氏と参加者で、記念講演の内容を踏まえながら、仕事と家庭の両立についてより深く対話しました。

アンケートより

- 午前中の講座とは違い、近い距離で皆さんと一緒にお話を伺うことができ、とても有意義な時間となりました。(40代・女性)

あなたらしく自分らしく輝くために、 私たちにできること



個人個人が、「自分らしさ」とは何か、自分らしく生きる上で問題点は何かを考え、解決するためにどうしたらいいかをグループ内で話し合いました。

アンケートより

- 自分らしく過ごせるヒントを見つけることができました。(40代・女性)

災害時に困らないために 女性視点の防災講座



グループに分かれて、災害の場面を想定しながら避難所の運営を考えるワークもあり、とても充実した内容でした。

アンケートより

- 近年災害が多く、いつ自分の身にも起こるかもしれないので、今日の講座を少しでも活かせたらと思います。(40代・女性)

お花畑のジェルキャンドルを つくろう



透明な“ろう”にピンセットで色とりどりの押し花を並べ、鮮やかなお花畑のようなキャンドルを作りました。

アンケートより

- 指先まで使ってすごく繊細で脳活性にも良いと思います。それぞれの個性が出ていて素敵でした。(70代以上・女性)

恐竜発掘☆ みそだまづくり体験



恐竜の Pasta などの具材とみそを、ころころ丸めて、お湯を注ぐだけでみそ汁になる“みそだま”を作りました。

アンケートより

- 子どもと楽しく参加できました! 初めてのみそだまづくりで子どもも真剣でした。(40代・男性)

親子で科学を楽しもう! 体験・実験ショー



子どもたちは講師の絶妙なトークと科学実験に一気に引き込まれました。物体が浮上する実験や段ボール空気砲の実体験を通して、科学への興味を深めました。

アンケートより

- 子どもも大人も科学を楽しめました。宇宙も科学も身近に感じられる講座で良かったです。(40代・女性)

コロナ禍の3年間は、滞在期間短縮の観点から午後のみ開催としたり、サテライト会場を設けたり、オンライン配信をしたりと、何かと工夫しながら開催してまいりましたが、式典・講演会をはじめワークショップや体験講座等多数用意し、今年は4年ぶりに1日かけて開催しました。

これを機に男女共同参画・女性活躍の取り組みがさらに加速され、誰もが個性と能力を発揮し、自分らしく輝ける地域・豊かな社会の実現へと繋がっていくことを期待しています。

表彰おめでとうございます！



記念講演では、講師より「仕事も子育てでも自分らしくできそうと思ったら思い切りトライしてほしい」とエールをいただきました。(詳細は1ページをご覧ください)



福井県男女共同参画社会づくり 功労者知事表彰

- [個人] 仲保 チエコ 様 (越前町)
林田 とよ子 様 (坂井市)
古石 末子 様 (おおい町)
森下 好子 様 (敦賀市)
- [団体] 鯖江地域ファミリーサービスクラブ
敦賀ファミリーサービスクラブ

映画上映 「最高の人生の見つけ方」



余命宣告を受けた主婦と女性経営者が偶然出会い、家庭や仕事しか知らなかった二人が自分の殻を破り、「最高の人生の生き方」を探すうちに、やがて生きる喜びに気づくというストーリーでした。

アンケートより

- 自分にとって最高の人生の見つけ方は、100人いれば100通りあるんだなあと思いました。(60代・女性)

やさしいヨガセラピー ～素の自分に立ち返る～



マインドフルネスをベースに、簡単な呼吸法と動きで、身体と心を整えました。

アンケートより

- 「ヨガ」といっても様々なものがあるので、今回はどんなものかと参加しました。新しい感覚を味わえました。(40代・女性)

お花のペン立てを作ろう！ ガラスアート体験



好きな色のフィルムを貼り、スタンドグラスのようなお花のペン立てを作りました。

アンケートより

- 先生のご指導がとってもわかりやすく、素敵なペン立てができあがりました。(70代以上・女性)

おもちゃのこうかん！ かえっこバザール



遊ばなくなったおもちゃを、独自の子ども通貨に換えたり、お仕事をしても通貨を稼ぎ、その通貨を使って他のおもちゃと交換するといったおもちゃの交換会です。子どもの自主的な活動も見られました。

アンケートより

- 子どもが嬉しそうに頑張ってシール貼りの仕事をして、自分が納得しておもちゃ交換ができて良かったです。(40代・女性)



各種展示



おいしいもの販売

「ありがとうございました！」
企画委員の皆さん



今年の企画委員は、県内各地から20代～70代のメンバーが揃い、準備段階から広報活動、当日運営を通じてきらめきフェスティバルを盛り上げていただきました。ありがとうございました！

[新加盟団体紹介]

福井県商工会議所女性会連合会

R5.6.1 加入

主な活動や方針について

商工会議所女性会は、女性の力で地域を元気にするために、各地の女性経営者により作られた団体です。現在、福井県内には7つの商工会議所にそれぞれ女性会が設置されており、年間を通じて、地域研修会、会員の集いなどの各種事業を開催するとともに、全国の女性会や関西地区の女性会との交流を行いながら相互に研鑽に励んでいます。

これからの抱負とメッセージ

昨年は、当連合会が設立されてから20周年の年となり、杉本知事にご臨席いただき、記念講演会を開催しました。また、今年の5月には地域研修会として「海ごみが宝物に??～海ごみホットスポット若狭湾からの挑戦～」と題して、アノミアーナの代表である西野ひかる氏を講師として、若狭湾における海ごみの実態とそれに対して行っている活動についてご講演いただきました。これからも地域経済を取り巻くさまざまな問題の解決に向け、女性ならではの視点から様々な活動に取り組んでまいります。



令和5年度ふくい女性財団 役員紹介

職名	氏名	現職名
理事長	田村 洋子	福井県連合婦人会長
副理事長	○高島 美津子	J A 福井県女性組織協議会長
	田中 香苗	ふくい女性ネットNEXT (株) そごう・西武福井店長
理事	○藤丸 伸和	福井県未来創造部長
	○大嶋 徹	福井県生活学習館長
	北山 富士子	(公社) 福井県栄養士会長
	平等 智恵	(一財) 福井県母子寡婦福祉連合会長
	天谷 早苗	(一社) ガールスカウト福井県連盟長
	○田崎 治憲	さかい男女共同参画ネットワーク 副会長
	○新谷 真由美	きのこと星の町おいネットワーク 会長 福井県商工会女性部連合会 副会長
専務理事	平木 ひとみ	日本商運(株) 代表取締役
	永森 幹朗	永森建設(株) 代表取締役社長
	○西畑 知佐代	元福井県議会議員
	○田中 志敬	福井大学 国際地域学部 准教授
	江端 美喜子	(公財) ふくい女性財団事務局長
監事	○分野 利秋	福泉信用組合 常務理事
	齋藤 啓子	元(公財)ふくい女性財団副理事長 前さばえ男女共同参画ネットワーク会長
	伊与 登志雄	(株) 福井新聞社 参与 編集局特別編集委員兼記者研修センター長兼論説委員
評議員	江守 直美	(公社) 福井県看護協会会長
	川岸 道子	ラニイ福井貨物(株) 社長室長
	澤崎 祥也	日華化学(株) 取締役執行役員 管理部門長
	豊嶋 雅子	フクビ化学工業(株) 顧問
	長谷川 美香	福井大学医学部看護学科 コミュニティ看護学 教授
	三好 勝	税理士法人三好会計 代表社員税理士

※○は新役員

寄附金募集

ふくい女性財団では、「DV被害者等自立支援基金」、「一般寄附金」の寄附を幅広く募集しています。お預かり致します寄附金は、当財団の運営に有効に使用させていただきます。ご寄附は賛助会費とは違い、期限などが特にありません。個人、企業、団体を問わずどなたからでも3,000円より受け付けております。

令和5年度 寄附のご紹介

(令和5年9月1日現在)

「一般寄附金」

- ・匿名希望 1件 10,000円
- ・匿名希望 1件 ランドセル(7万円相当)42個

※経済的に困りの方でランドセルご希望の方はお問い合わせください。

※当財団への寄附金と賛助会費は、税制上の優遇措置対象となります。
詳細⇒ <https://www.f-jhosei.or.jp/donation/#incentives>

賛助会員募集

「男女が共に家庭、職場、地域で活躍できる社会」を目指して、男女共同参画や女性の活躍推進のための研修会や意識啓発、情報収集と提供、賛助会員団体等への活動支援などを行っています。

こうした財団の趣旨に賛同し、応援一緒に歩んでくださる団体・企業・個人の「賛助会員」を募集しています。

年会費 (すべて1口あたりの金額です)

- ・県域法人および団体 10,000円
- ・地域法人および団体 5,000円
- ・一般(個人および企業) 3,000円

会員特典

- 機関紙・研修案内送付
- 有料講座の割引
- 研修会等への優待
- 女性団体支援事業による助成(団体会員のみ要審査)

かがやく女性 vol.55

編集・発行 公益財団法人ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1 福井県生活学習館(ユニー・アイ ふくい)2階 TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260

E-mail:f-jhosei@f-jhosei.or.jp URL:https://www.f-jhosei.or.jp/



Fukui SDGs Partner



ふくい女性財団 HP



今回は令和6年3月発行です

ふくい女性財団 各種 SNS

